

1. 科目名（単位 数）	介護概論（2単位）	3. 科目番号	SNMP1109
2. 授業担当教員	岡田 稔		
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	介護福祉コースの学生以外は履修できない		
7. 講義概要	本教科は「介護」の基盤となる。[介護を必要としている人]を生活の観点から捉え、その人の生き方、暮らし方、生活習慣など、その人らしさを大切にすることから、「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解し、明確にしていくことを目的とする。 「人間と社会」の学習と関連付けながら、介護現場の事例や視聴覚教材を通して、「介護」についての考えを深めていけるよう授業を展開する。		
8. 学習目標	介護概論が終了した時点で、下記の目標達成をすることが期待される。 1. 介護の専門職を取り巻く状況を理解でき、介護の今日的課題を把握することができる。 2. 介護の専門職の役割と機能を支えるしくみが理解でき、実践できる能力を養うことができる。 3. 尊厳を支える介護が理解でき、要介護者への支援において常に把握できている。 4. 自立に向けた介護が理解でき、生活支援で活用することができる。 5. 介護を必要とする人が理解でき、要介護者主体の介護が展開できる。 6. 介護サービスが理解でき、利用する人々と介護のあり方を明確にすることができる。 7. 介護実践における連携が理解でき、チームアプローチの心構えを養うことができる。 8. 介護従事者の倫理の重要性が理解でき、人間性について考えることができる。 9. 介護における安全の確保とリスクマネジメントが理解でき、介護場面での具体的な手法を把握することができる。 10. 介護従事者の安全が理解でき、腰痛予防や手洗いなど健康管理を実践できる。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	レポート課題 第5回授業：事例から「尊厳を支える介護」について論述する。（A4/1枚） 第9回授業：「介護の今日的課題」について論述する。（A4/1枚） その他授業中にミニレポートを及び課題レポートを提出してもらう。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】『最新・介護福祉士養成講座3 介護の基本Ⅰ第2版』中央法規出版。 『最新・介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ第2版』中央法規出版。		
11. 成績評価の規準 と評価の方法	○成績評価の規準 1. 介護福祉士を取り巻く状況を理解でき、役割と機能を支えるしくみが理解できたか。 2. 尊厳を支える介護、自立に向けた介護が理解できたか。 3. 介護を必要とする人が理解できたか。 4. 介護サービスが理解でき、介護実践における連携やチームアプローチの心構えについて理解できたか。 5. 介護従事者の倫理の重要性や介護における安全の確保とリスクマネジメントが理解できたか。 ○評価の方法 [レポート 授業への積極的参加度を総合的に評価する] 1. 授業ノート提出・評価 40％ 2. レポート 40％ 3. 授業態度 20％		
12. 受講生への メッセージ	「人間と社会」と関連付けながら学習してください。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「介護概論」のねらいと、単元の解説 テーマ「介護福祉士が理解する介護とは」 介護とは何かを、歴史的な経過を踏まえながら考えていく。	事前学習	シラバスを読み、本教科の内容を理解する。 学習用ノート、資料等を整理するファイルを用意する。「介護」とは何か考える。
		事後学習	「介護とは何か」を整理する。
第2回	テーマ「生活の理解」 年齢とともに変化する生活を理解し、各自の1日の生活を振り返りながら、生活にも多様性があることを理解する。	事前学習	自分の1日の生活をまとめる。
		事後学習	日常生活の特性を整理する。
第3回	テーマ「介護を必要とする人の理解」 生活史、価値観、生活習慣、生活様式の多様性から、その人らしさ、生活のニーズを理解する。	事前学習	生活ニーズの個別性を考える。
		事後学習	「その人らしさ」「生活のニーズ」について整理する。
第4回	テーマ「自立に向けた介護」 自立と自律、自己決定と自己選択、自立支援について理解し、個別ケア、ICFの考え方など事例を通して「自立に向けた介護」を理解する。	事前学習	自立について考える。
		事後学習	「自立とはなにか」について整理する。
第5回	テーマ「尊厳を支える介護」 QOL、ノーマライゼーション、利用者主体の考え方を学習し、介護が必要な人の尊厳を支える介護の重要	事前学習	人間の尊厳とは何か考える。
		事後学習	「尊厳を支える介護」について整理し、レポートに活かす。

	性を理解する。 レポート課題：事例から「尊厳を支える介護」について論述する（A4/1枚）		
第6回	テーマ「介護従事者の倫理」 身体拘束や虐待、権利擁護やプライバシーの保護、個人情報の保護など、事例を通して、介護の現場で求められる倫理について理解する。	事前学習	なぜ介護福祉士に倫理が必要なのか考える。
		事後学習	身体拘束がもたらす多くの弊害について整理する。
第7回	テーマ「介護の専門性・独自性」 介護に対する社会的承認や評価、それを基盤とする法制度、免許や業務などを学習し、介護の専門性、独自性について理解する。	事前学習	「お世話」と「介護」の違いを考える。
		事後学習	介護福祉士に求められる専門性について整理する。
第8回	テーマ「生活の場における介護」 介護を必要としている人が生活をしている在宅や施設での介護のあり方を理解する。	事前学習	介護が必要としている人の生活の場所を調べて、生活障害を考える。
		事後学習	生活の場における介護の在り方を整理する。
第9回	テーマ「介護福祉士を取り巻く状況」 介護の歴史や少子高齢化、介護問題の背景を学習し、介護の社会化など介護の今日的課題を考えていく。 レポート課題：「介護の今日的課題」について論述する（A4/1枚）	事前学習	「求められる介護福祉士像」を考える。
		事後学習	「2015年の高齢者介護」に向けたケアモデルの転換について整理し、レポートに活かす。
第10回	テーマ「介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ」 社会福祉士法及び介護福祉士法、専門的職能団体の活動を通し、介護福祉士の役割と機能を支えるしくみを理解する。	事前学習	介護の基本Ⅰ p.99行を読み、介護の定義規定の変更を考える。
		事後学習	介護福祉士の役割について整理する。
第11回	テーマ「介護実践における連携」 保健、医療、福祉など多職種、地域のサービス、地域包括支援センターなどの機能と役割、連携を理解する。	事前学習	介護に関係する他職種を調べて、連携のあり方を考える。
		事後学習	地域連携にかかわる機関の機能と役割について整理する。
第12回	テーマ「介護における安全の確保」 介護における観察、的確な技術、予測と分析能力の重要性を理解する。施設や在宅で起こりやすい事故とその安全対策や災害対策を学習する。さらに感染予防の基礎知識、意義、管理を学習する。	事前学習	介護における安全安心を理解し、転倒した時の対応を考える。
		事後学習	介護場面における安全・安心について整理する。
第13回	テーマ「介護従事者の安全」 ストレスや燃え尽き症候群など心の健康対策、身体の健康管理として、感染対策、腰痛対策を学習し、介護従事者としての健康管理の必要性を理解する。さらに、労働基準法、労働衛生法を学習し、介護従事者としての安全と健康を理解する。	事前学習	自分の普段のストレスをどのように解消しているか考える。
		事後学習	介護従事者としての安全と健康について整理する。
第14回	テーマ「介護におけるリスクマネジメント」 介護における事故防止、安全確保のためのリスクマネジメントのあり方を理解する。	事前学習	誤薬を避けるためにはどのようなことが必要か考える。
		事後学習	リスクマネジメントに必要な要素を整理する。
第15回	授業の振り返りとまとめ	事前学習	設問形式で行うので、今までの授業内容について整理しておく事
		事後学習	振り返りの整理を行うこと。